

〔記入例〕 添付様式 5-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

添付様式 5-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標5		
指標名		観光入込客数			商業販売額		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類
基幹事業	都市計画道路〇〇線改良事業		歴史、風土、水ネットワーク事業]の遅れが、ハード事業との連携を遅らせ、観光客の伸びにマイナスの影響を与えた可能性が大きい。ただし、〇駅の改築と■の改修工事は観光客増に大きく貢献した。	I	-a	都市計画道路〇〇線改良事業]の整備により、区内の買い物客が近隣地区の大規模商業施設に流出してしまった。ただし、〇駅教条駅舎改築事業と●●地下道自由通路整備事業が買い物客の増加させた。	III
	都市計画道路△△線改良事業	-b					
	市道××線〇〇交差点改良事業	-b					
	●●地下道自由通路整備事業	-b					
提案事業	〇〇地区景観形成ワークショップ	-			-		
	〇〇土地区画整理事業	-			-		
関連事業	■●館改修工事	c			-		
	地区計画	-			-		

改善の方針 (記入は必須)	<ul style="list-style-type: none"> ハード事業とソフト施策の連携 道路ネットワークの再検討 策の再検討 サイン整備計画の見直し 観光客の動線の再検討 商業活性化計画の策定
------------------	--

- ① 指標の種別・指標名……添付様式 3-①において数値目標を達成できなかった判断される指標の種別及び指標名（達成度が△もしくは×でかつ、達成見込み「なし」とした指標）を記入する。
- ② 事業名・箇所名……都市再生整備計画に記載したすべての事業名および事業を実施した箇所名を具体的に記入する。
- ③ 目標未達成への影響度……事前評価時に行った評価と同様の要領で指標の目標の達成と事業との関連性を評価するが、以下の基準により、指標の目標を達成できなかったことに対して、事業が効果を発揮できなかった影響度を評価する。

評価の基準	目標未達成への影響度
事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった	- a
事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった	- b
指標の目標を達成できなかった原因ではない	c
事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない	-

- ④ 総合所見……指標の目標が達成できなかった主要因を、実施した（あるいは計画どおりに実施できなかった）事業や実施過程との関連性を踏まえ、事業名等を挙げながら具体的に記入する。
- ⑤ 要因の分類……総合所見で整理した要因について、それが内的な要因か・外的な要因か／予見可能であったか・不可能であったか、について分析し、分類Ⅰ～Ⅳのうちの該当するものを記入する（具体的な例は P.26 参考 3 を参照）。

要因の分類	判定の基準
分類Ⅰ	内的な要因で、予見が可能で要因のため
分類Ⅱ	外的な要因で、予見が可能で要因のため
分類Ⅲ	外的な要因で、予見が不可能で要因のため
分類Ⅳ	内的な要因で、予見が不可能で要因のため

- ⑥ 改善の方針……交付期間が終了した後も、目標の達成を目指し行うべき改善の方針を必ず記入する（改善の方針の立て方については P.27 参考 4 を参照）。